

## 通学路における危険箇所および一覧表

土岐小・瑞浪北中

番号	危険箇所	危険であると考えられる内容	小学校対応策
R3-1	消防署前の瑞浪大橋の下の地下道(東側)	死角になっている。冬場は暗い。暗闇だと不審者が潜んでいても気づかない。怖いので地下道を使って通り抜けようとする、階段が滑りやすく転ぶ危険がある。令和3年4月に児童が不審者に肩をつかまれる事案が発生している。	集団で帰る。何かあったら子ども110番の家に向けこむなど、不審者対応を指導する。
R3-2	消防署前の瑞浪大橋の下の地下道(西側)	死角になっている。冬場は暗い。暗闇だと不審者が潜んでいても気づかない。	集団で帰る。何かあったら子ども110番の家に向けこむなど、不審者対応を指導する。
R3-3	清水 県道352号(旧19号)下の地下道	天井が低いので高学年になると頭を打つ。階段も滑り、雨の日は水量が増して危ない。暗いと不審者が潜んでいても気づかない。	慌てないでゆっくりと歩くことを指導する。
R3-4	清水 学校から線路を越え、県道を越えた後の松洞川沿いの道	堤防が土の状態であり、未舗装。雨の日や草が生い茂ると滑りやすい。降雨時は増水する。道幅が狭いのに車両が通行するため危険。	慌てないでゆっくりと歩く。車両が来たらあまり端に寄り過ぎず止まることを指導する。
R3-5	清水 県道352号(旧19号)を超えて清水方面の生活道路にある橋	道幅が狭いが、生活道路のため車両の通行量がある。橋に手すりやガードレールがないので、車両をよけた際、落下する危険がある。降雨時は増水するため危険。	慌てないでゆっくりと歩く。車両が来たらあまり端に寄り過ぎず止まることを指導する。
R3-6	一日市場 一日市場から森農機に抜ける山道	竹藪が生い茂っているため、冬や雨の日など、日中が暗いときは、不審者が潜みやすく危険。	集団で帰る。何かあったら子ども110番の家に向けこむなど、不審者対応を指導する。
R3-7	一日市場 森農機付近の大洞川沿い	児童が通る道の横が川になっている。ガードレールがなく、落下する危険がある。	慌てないでゆっくりと歩く。車両が来たらあまり端に寄り過ぎず止まることを指導する。
R3-8	一日市場 学校から森農機までの用水路沿いの細い道	水路があるが柵がなく、道幅も狭い。落下すると流される危険がある。	広がらないで歩行すること。用水路に近づきすぎないようにすることを指導する。
R3-9	一日市場 明治天皇小休所前の交差点	石垣で人が隠れてしまう。住宅の間から道路を渡るため、子どもにすることに気づかない車がスピードを落とさず走る。横断歩道もなく、注意喚起の看板もないので危険。	横断するときには左右を確認することを指導する。
R3-10	桜堂 桜堂薬師の前の交差点	かま濃交差点から上がってくる車が減速をしないで走ってくる。速度制限等の標識がないため、速度に意識がない。	車が来ている時には止まるように指導する。
R3-11	桜堂 中央橋付近	登校中の時間帯は一方通行で登校方向と逆から車がたくさん通る。道幅も狭く、ガードレールもない。雨が降ると増水するので落下すると流される危険がある。	車が来ている時には止まるように指導する。
R3-12	きなあたから学校までの堤防道路	白線が消えかかっている。白線の内側を歩くように指導しているため、広がって歩きやすくなり、車が通行しにくくなるため、車との接触の危険性がある。	できるだけ、端を通るように指導する。
R3-13	益見 はら子橋から中京高校に向かう直線道路	通学路ということが分かる標識がないため、車がスピードを落とさず走る。住宅街の中の道のため、車幅が狭く危険。	広がらないで歩行すること。車が来たら止まることを指導する。
R3-14	市原 滝沢鉄工の前の橋	橋の幅が狭く、車が通ると危険。橋の端部も手すりがなく、落下の危険あり	広がらないで歩行すること。橋の端に近づきすぎないようにすることを指導する。
R3-15	市原 日焼田橋付近のがけ	落ちやすくなっている。昨年度、実際に落ちている児童がいる。	よく見て歩くこと、端に寄りすぎないように指導する。
R3-16	木ノ暮地区 中京学院大学から高速の下のトンネルを通ったT字路	車の往来が多い。道が狭い。ガードレールがなく、白線が消えかかっている。通学途中の大学生の車やバスがスピードを出して通るので、子どもが怖がっている。	横に広がらず歩行すること。T字路付近は特に気を付けて通過すること。
R3-17	桜堂から下沢方面道路のカーブ	カーブで向こう側が見にくいので、車がスピードを出してくる。	右寄りを歩くように指導する。